

科目名	薬事関係制度			ナンバリング	REG281	授業形態	講義
対象学年	4 年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	未定	担当教員					

授業の概要	公平で質の高い医療を受ける患者の権利を保障するしくみを理解するために、社会保障制度と薬剤経済の基本的知識を修得し、それが実践されるコミュニティファーマシー（地域薬局）のあり方と業務を理解するために、薬局の役割や業務内容、医薬分業の意義、セルフメディケーションなどに関する基本的知識を修得する。						
到達目標	1. 日本の社会保障制度の枠組みと特徴について説明できる。 2. 医療保険制度・療養担当規則について説明できる。 3. 公費負担医療制度について概説できる。 4. 介護保険制度・高齢者医療制度について概説できる。 5. 薬価基準制度について概説できる。調剤報酬、診療報酬及び介護報酬の仕組みについて概説できる。 6. 国民医療費の動向・薬物療法の経済評価手法について概説できる。 7. 地域における薬局の機能と業務・医薬分業の意義と動向について説明できる。 8. かかりつけ薬局・薬剤師による薬学的管理の意義・セルフメディケーションにおける薬局の役割について説明できる。						
学習のアドバイス （勉強方法、履修に必要な 予備知識など）	①この講義では、健康保険法等の薬剤師に関係する各法律・制度の目的と重要事項を理解し説明できることとにある。薬剤師として必要な関係制度を知ることが重要である。 ②各講義では、パワーポイントで作成した資料を配布する。 ③薬事関係制度の科目の中で、健康保険が非常に重要な法律となっているので、厚生労働省、日本医師会、日本薬剤師会、或いは新聞等のメディアにも注意を払って情報を得ておく必要がある。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。					
		2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
		3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
	○	5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①日本の社会保障制度と 医療保険制度について概説できる。 ②介護保険制度・高齢者医療制度について概説できる。 ③国民医療費について概説できる。 ④地域薬局と薬剤師の役割、医薬分業の意義について概説できる。	①日本の社会保障制度の枠組みと特徴、医療保険制度・療養担当規則について説明できる。 ②介護保険制度・高齢者医療制度の意義について説明できる。 ③薬価基準制度や調剤報酬、診療報酬及び介護報酬の仕組みについて説明できる。 ④国民医療費の動向・薬物療法の経済評価手法について説明できる。 ⑤地域における薬局の機能と業務・医薬分業の意義と動向について説明できる。 ⑥かかりつけ薬局・薬剤師による薬学的管理の意義・セルフメディケーションにおける薬局の役割について説明できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験（中間・期末試験）	○						100%
小テスト・授業内レポート	○						
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			加点はしない。

課題、評価のフィードバック	毎回、講義の終わりに講義内容を理解したかどうかの小テストを課し、その後、問題解説を行い、解答解説書を配布する。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	社会保障制度①	日本における社会保障制度のしくみを説明できる。	SBO:B-(3)-①-1
	第2回	社会保障制度② 医療保険①	社会保障制度の中での医療保険制度の役割を概説できる。 医療保険の成り立ちと現状を説明できる。	SBO:B-(3)-①-2
	第3回	医療保険②③	医療保険のしくみを説明できる。医療保険の種類を列举できる。 国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。	SBO:B-(3)-①-2,4
	第4回	社会保障制度③	介護保険制度のしくみを説明できる。	SBO:B-(3)-①-5
	第5回	社会保障制度④	高齢者医療保健制度のしくみを説明できる。	SBO:B-(3)-①-1,5
	第6回	医療保険④	保険薬剤師療養担当規則及び保険医療機関療養担当規則を概説できる。 調剤報酬及び調剤報酬明細書(レセプト)について説明できる。	SBO:B-(3)-①-7
	第7回	中間試験	社会保障制度、医療保険に関する中間試験を行う。	
	第8回	薬剤経済①	国民医療費の動向を概説できる。	SBO:B-(3)-②-1,2
	第9回	薬剤経済②	保険医療と薬価制度の関係を概説できる。診療報酬と薬価基準について説明できる。 医療費の内訳を概説できる。	SBO:B-(3)-②-4
	第10回	地域薬局の役割①	地域における薬局の機能と業務について説明できる。	SBO:B-(4)-①-1
	第11回	地域薬局の役割②	在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割を説明できる。 学校薬剤師の役割を説明できる。	SBO:B-(4)-②-2,3
	第12回	医薬分業	医薬分業のしくみと意義を説明できる。医薬分業の現状を概説し、将来像を展望できる。 かかりつけ薬局の意義を説明できる。	SBO:B-(4)-①-2,3
	第13回	薬局の業務運営	保険薬剤師の法的規則を概説できる。薬局の形態および業務運営ガイドラインを概説できる。 医薬品の流通のしくみを概説できる。	SBO:B-(3)-②-1
	第14回	OTC薬とセルフメディケーション	主な一般用医薬品(OTC薬)を列举し、使用目的を説明できる。 漢方薬、生活改善薬、サプリメント、保健機能食品について概説できる。	SBO:B-(4)-①-4, E2-(9)1~8, E2-(10)-①②
	第15回	まとめ	薬剤経済、コミュニティーファーマシーに関する重要ポイントのまとめを行う。	
	試験	薬事関係制度全体に関わる期末試験を行う。		
授業の進め方		基本的に講義を行う。教科書、配布資料、板書を基に進める。講義の終わりに、纏めとして演習問題を解く。		
授業外学習の指示		授業の前に教科書の当該箇所を読んでおくこと。また、講義の後には、資料を基に復習し、演習問題を再度解いておくこと。 (授業外学習時間: 毎週 120 分)		

教科書	わかりやすい薬事関係法規・制度 第4版、木方 正 他編集(廣川書店)ISBN978-4-567-01652-0 ￥4,500
参考書	スタンダード薬学シリーズⅡ-1 薬学総論 薬学と社会(東京化学同人)ISBN978-4-8079-1701-3 C3347 ￥4,500
参考URLなど	厚生労働省 http://www.mhlw.go.jp/ 日本医師会 http://www.med.or.jp/ 日本薬剤師会 http://www.nichiyaku.or.jp/
その他	